

巻頭言 あらゆる県民の皆様のために

福島県立図書館長 岡崎 拓哉



いつも、県立図書館をご利用いただいている県民の皆様、ありがとうございます。

昨年は、2月に発生した地震の影響で1か月近く休館させていただいた他、停電により突然休ませていただいたこともありました。

また、新型コロナウイルス感染症対策のため、1年を通じて、閲覧席数を減らし、消毒の徹底を行いました。まん延防止等重点措置の期間には、全ての座席をなくし、閲覧制限を行いました。やむを得ないこととはいえ、利用される県民の皆様には、大変、ご不便、ご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。

こうした状況の中で、当館においていただく利用者の人数は、以前に比べると、少なくなりました。しかし、一方で、図書の貸出冊数は以前よりむしろ伸びています。新しい生活様式の下、なかなか外出がしづらい環境の中で、改めて本により楽しみを見出し、様々な体験を想像し、知的活動を行うといったことが見直されているのだらうと思っています。

県立図書館としても、こうした皆様の想いを支えるため、非来館のまま図書や資料を活用できるサービスの充実に力を入れてきました。

県立図書館の本を市町村の図書館で受け取ったり、あちらこちらの市町村図書館の本をお近くの市町村図書館で受け取ったりできるよう、県内の図書館ネットワークの充実に力をいれており、最近では、だいぶ認知されてきたのか、利用も伸びています。また、図書館がない地域の皆様に向けて、県立としては全国でも珍しい移動図書館車を走らせる取組も続けています。

県立図書館の大きな使命のひとつは、どのような状況でも、どこにいても、あらゆる県民の皆様の本や資料を届けることだと思っています。

今後も、県内の図書館ネットワーク体制の充実に、さらに努めていきたいと思っています。また、資料のデジタル化を進めるとともに、さらに便利に図書や資料を活用いただけるよう、皆様のニーズなどを踏まえながら、電子書籍の導入に向けても検討、準備を進めていくなど、図書や資料に触れやすい環境を作っていきたいと考えています。

また、県立図書館の役割は、ただ本をお貸しして読んでいただくだけではありません。図書館の本や資料を活用し、その知識・情報を糧として、学校・社会教育はもとより、生活の改善、仕事のスキルアップ、起業のための準備など、県民の皆様がそれぞれ一歩踏み出すためのお手伝い、応援ができる場所でありたいと考えています。

図書館は、誰でも、無料で、手に入りにくい貴重な資料などを利用できる施設です。ぜひ、県立図書館や、市町村図書館・図書室に足を運んでいただいたり、ホームページを訪問するなど、気楽に図書館に触れていただくとともに、本の専門家である司書にお気軽に探し物などをご相談いただき、皆様の夢の実現や学びのための材料を見つけていただきたいと思います。

これからも、県立図書館、さらには、県内の公共図書館・図書室をよろしく願います。

地元でも使える!活かせる! 福島県立図書館の非来館サービス

県内でも感染症の拡大により、多くの地域で移動の自粛が呼びかけられました。福島県立図書館のある福島市までの移動が困難な時や、開館時間中の来館が困難な時、地元で県立図書館の資料を使いたい時に便利なサービスをピックアップしてご案内します。



読んでみたい作品があるんだけど、どの本に収録されているかわからないんです。県立図書館まで調べに行くには、遠すぎて…。調べてもらうことはできませんか？

新聞記事のコピーを取りたいんです。地元の図書館では持っていないみたいなんですけど、福島まで行くのは遠いので…。送ってもらうことはできますか？

開館時間中であれば、お電話でご相談をお受けいたします。開館時間中のご連絡が難しい方や、込み入った内容のお問い合わせはお手紙やファクシミリでお送りください。図書館ホームページから相談を申し込むこともできますよ。

当館で所蔵しているものであれば、図書他に新聞や雑誌を複写してお送りすることもできます。後日、複写の料金と送料の振り込みをお願いします。ご依頼の内容によっては、著作権法の規定により、事前にご相談させていただくことがあります。

https://www.library.fcs.ed.jp/?page_id=232

(図書館ホームページ>調査相談・複写)



急いで読みたい本があるんです。県立図書館まで行くのは遠いし、地元の図書館が開館している時間に行くのも難しいんだけど…。取り寄せる方法はありますか？

急いで図書館の資料を取り寄せたい方向けに、「資料宅配サービス」をご案内します。本棚にある本でしたら、数日中にお手元までお届けします。送料は利用者のご負担となります。県立図書館の利用カードをまだお持ちでないようでしたら、郵送での発行も可能です。

https://www.library.fcs.ed.jp/?page_id=229

(図書館ホームページ>利用案内>資料宅配サービス・郵送による利用登録・更新)



学生です。レポート作成のために読みたい本があるんです。できるだけお金のかからない方法で借りたいんですけど、方法はありますか？

送料のご負担なしでご利用いただける「受取館指定サービス」をご案内します。毎週火曜日の12:00までに県立図書館のホームページでお申込みいただいた本を、金曜日以降ご指定の市町村図書館で受け取ることができるサービスです。貸出期間は、受取館での取り置き期間を含めて20日です。学生に限らず、どなたでもご利用いただけます。

https://www.library.fcs.ed.jp/?page_id=230

(図書館ホームページ>利用案内>受取館指定サービス)

受取館指定の図書館またはその他の遠隔地返却受付館にご返却いただくと、送料等はありません。

https://www.library.fcs.ed.jp/?page_id=226

(図書館ホームページ>利用案内>貸出と返却>返却について)

この他、地元の図書館や通っている学校の図書館で資料を取り寄せてくださるかもしれません。お気軽に相談なさってみてください。



福島県立図書館で利用できるデータベースのご案内

データベースとは？

「系統的に整理・管理された情報の集まり。特にコンピュータで、さまざまな情報検索に高速に対応できるように大量のデータを統一的に管理したファイル。また、そのファイルを管理するシステム。」『広辞苑 第7版』より

福島県立図書館で利用できる主なデータベースについて

① ふくしまみんゆうデジタルアーカイブ(印刷は有料)

福島民友新聞の記事検索データベースです。2003(平成15)年5月15日から利用日前日までの最終版の紙面について記事検索・閲覧が可能です。記事の詳細画面から、切り抜き紙面のイメージの表示と印刷ができます。



(紙面全体のイメージ)



(切り抜き紙面のイメージ)

② 福島民報データベースとCD・DVD-ROM(印刷は有料)

福島民報データベースは、福島民報社のご協力で利用できるようになった福島県立図書館独自のデータベースです。1892(明治25)年8月1日から2002(平成14)年7月31日までの紙面の閲覧が可能です。また、キーワードで検索できるように『伝えて百十年』(福島民報百十周年記念誌)の各年の主な記事見出しと、1976(昭和51)年10月から2002(平成14)年7月『福島民報縮刷版』の目次より主な記事見出しを採録しています。現在ご利用可能な記事検索は、政治・経済分野のみですが、そのほかの分野は随時更新しています。(2021年12月現在)

福島民報 CD・DVD-ROM は、紙面のデジタル画像を CD・DVD-ROM に収めた縮刷版です。2002(平成14)年8月から毎月、一か月間の地方版や別刷りを含む福島民報の紙面(最終版)を1から2枚の CD・DVD-ROM に収めています。記事検索と広告面を含む全紙面の閲覧が可能です。また、1年間の記事をまとめて検索することのできる年間記事 INDEX もございます。



(福島民報 DVD-ROM)

③ ジャパンナレッジ Lib(印刷は有料)

ジャパンナレッジ Lib は、70以上の辞事典、叢書、雑誌が検索できる国内最大級の辞書・事典サイトです。基本検索はすべての辞事典を横断検索しやすくシンプルに作りになっており、詳細検索はコンテンツに応じて、ジャンルや項目の種類といった絞り込み機能が充実しているため、検索語があいまいなときや、思い浮かばないときにとても有効なデータベースです。

福島県立図書館では、上記以外にも様々なデータベースをご利用いただけます。調査内容によって職員が最適なデータベースを紹介いたします。

初めての利用が不安な方には、職員が簡単に利用方法をご説明いたします。お気軽に調査・相談カウンターにお問い合わせください。また、年に1回程度データベース講座を実施しております。開催については館内掲示やホームページでお知らせしますので、興味のある方はぜひご参加下さい。

どくしょ こま
読書の困りごとはありませんか？

ふくしまけんりつとしょかん しょう しゃ あんない
福島県立図書館 障がい者サービスのご案内

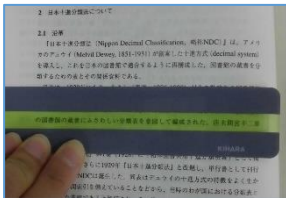
ちい もじ よ つか おんせい りかい もじ あたま はい
小さな文字を読むと疲れてしまう。音声だと理解できるが、文字だと頭に入らない。
て ほん も
手がふるえて、本を持っていることができない。 などなど

しりょう
さまざまな資料・サービスがあります

だいかつじとしょ
大活字図書

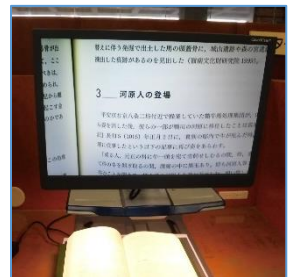
つうじょう ほん おお もじ か ほん
通常の本よりも大きな文字で書かれた本です。
じゃくし こうれい ちい もじ み かた よ
弱視や高齢のため、小さな文字が見えづらい方にも読みやすいです。

き き
バリアフリー機器



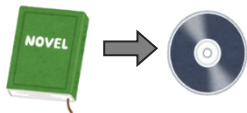
リーディングトラッカー

かくだいどくしよき こうかいとしよしつ だい じゅう
拡大読書器は、公開図書室に2台あり、自由に
りょう ろうかんきょう
ご利用いただけます。老眼鏡、ルーペ、リーディング
トラッカーなどは、カウンターにございます。



かくだいどくしよき
拡大読書器

しりょう
デージー資料



テキストデージーや音声デージーは、本を音声で
き
聞くことができます。
さいせい せんよう き き たいおう
再生には専用の機器やMP3対応のCDプレイヤー、
データ再生用アプリが必要です。



さいせい き き
デージー再生機器

※デージー資料のご利用には、視覚障害等の条件があります。

しょう しゃ ないよう
● 障がい者サービスの内容 ●

- (1) 福島県立図書館の利用カードをお持ちの方で、なんらかの理由で活字による読書が難しい方、本をそのままの形態で利用することが難しい方が対象です。事前登録が必要です。
- (2) ボランティアによる対面朗読（現在休止中）、サピエ図書館の資料（デージー資料）の利用と、サピエ図書館の個人会員登録、デージー資料の再生機器の貸出、図書館資料の郵送ができます。
※郵送は障害者手帳をお持ちの方を対象に、片道分の送料を県立図書館が負担します。

と あ
● お問い合わせ ●

しりょうじょうほう ぶいばんしりょう でんわ
資料情報サービス部 一般資料チーム 電話 024-535-3218 ファックス 024-536-4787

ホームページ <https://www.library.fcs.ed.jp/> トップページ> 利用案内>個人利用>障がい者サービス

地域資料のデジタル化について

当館では古く貴重な地域資料のデジタル化を実施し、資料の保存と利用の両立を図っています。昨年度は『福島県管内道路分類縮図』などをデジタル化し、今年度も絵図などのデジタル化を実施予定です。デジタル化した資料は CD-ROM に保存し、貸出しています。また当館ホームページのデジタルライブラリー (https://www.library.fcs.ed.jp/?page_id=262) にその一部を公開しています。今年度は城郭絵図6点を公開しました。いつでもどこからでもご利用いただけます。

「デジタルふくしま」のページ

国立国会図書館が公開している「国立国会図書館デジタルコレクション」(<https://dl.ndl.go.jp/>)を利用すると福島県に関する様々な資料をインターネット上で見ることができます。「書名は分からないけど福島県の名簿ってないかな」「福島で検索すると多すぎて絞り込めない」といったお悩みに対応すべく調べものによく使う資料をジャンルごとにまとめてリンク集とした「デジタルふくしま」(https://www.library.fcs.ed.jp/?page_id=360)のページを公開しています。調べものの第一歩としてご利用ください。



『福島県人名鑑』
(国立国会図書館デジタルコレクション)

福島県地域資料ご寄贈のお願い

福島県立図書館では、郷土の過去・現在を未来へ伝える資料として、福島県に関する資料や福島県にゆかりのある方の著作物を収集・保存し、県内外の方にご利用いただいています。

地域資料とは次のような資料です。

- ・福島県や県内各地域に関する資料(歴史、民俗、地誌など)
- ・福島県内企業・団体・行政機関等の発行した資料
- ・福島県内に在住する方、または福島県出身の方の著作
- ・福島県にゆかりのある方の伝記

※ 図書だけでなく、フリーペーパー、雑誌、地図、パンフレット、CD、DVDなども収集しています。

※ 東日本大震災に関する資料は特に重点的に収集しています。

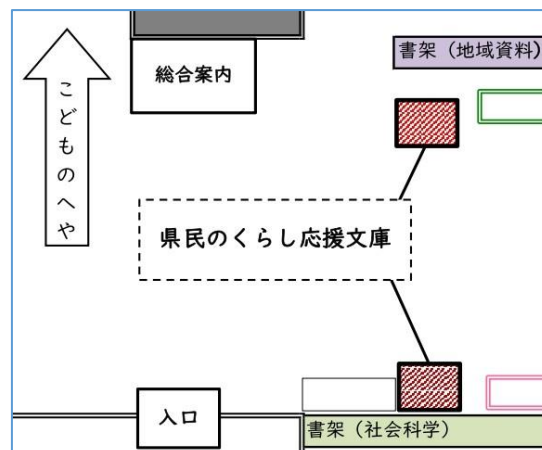
上記のような資料を刊行された際は、当館へ **2部**(保存・貸出用)ご寄贈いただけるとたいへん嬉しく思います。また、地域資料の蔵書を処分される際にも、ご一報ください。



「県民のくらし応援文庫」について

福島県立図書館では、「県民のくらし応援文庫」として「育児活動支援」「健康長寿支援」「まちづくり支援」「防災活動支援」の4テーマに沿った図書をご寄贈いただいています。令和3年度2月までに、延べ29団体（企業）から合計4,530冊のご寄贈を頂きました。

県民の皆様のくらしや、地域づくりを応援するための資料です。館内インターネットコーナー及び蔵書検索コーナーとなりの「県民のくらし応援文庫」のコーナーをぜひ一度ご覧ください。



県民のくらし応援文庫へのご寄贈のお願い

「県民のくらし応援文庫」は、県民の皆様のくらしや地域づくりを応援するため、「育児活動支援」「健康長寿支援」「まちづくり支援」「防災活動支援」の4テーマで図書をご寄贈いただく制度です。ぜひ下記のとおりでご寄贈ください。

- ・当館の資料収集方針及び当文庫のテーマに沿った図書で、当館の蔵書にないもの
- ・新品の図書
- ・一口(5万円)相当以上

ご寄贈図書への記名などの制度もありますので、ぜひ多くの皆様のご賛同とご協力をお願いします。

※詳しくは、福島県立図書館(電話024-535-3220)へお問い合わせください。

図書のご寄贈(令和4年2月現在)

以下の団体をはじめ、多くの方々から図書のご寄贈をいただきありがとうございました。

ご寄贈いただいた資料は、当館の活動を通じて広く県民の皆様の利用に供してまいります。

【県民のくらし応援文庫のご寄贈】(敬称略)

- 福島発電株式会社[103冊 200,000円相当](令和3年6月22日)
- 一般財団法人ふくしま未来研究会[520冊 1,000,000円相当](令和3年11月10日)
- 大槻電設工業株式会社[64冊 100,000円相当](令和3年12月15日)
- 福島ヤクルト販売株式会社[31冊 50,000円相当](令和4年1月13日)

【通常ご寄贈】(敬称略)

- 秋光信佳[80冊 県立・市町村図書館、公民館分](令和3年3月26日)
- NPO法人チームふくしま[135冊 県立・市町村図書館、公民館分](令和3年6月15日)
- 国際ゾンタ福島ゾンタクラブ[29冊 50,000円相当](令和3年7月29日)
- 一般財団法人福島県教職員互助会[1,272冊 2,200,000円相当](令和3年11月24日)

『福島県立図書館報 あづま』第71巻(通巻275号)

令和4年3月3日

発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島県福島市森合字西養山1番地 電話:024-535-3218(代表)

URL: <https://www.library.fcs.ed.jp/>